

令和6年度 佐賀市エコプラザ運営委員会 議事概要

【開催日時】 令和7年2月10日（木） 14時00分～16時03分

【開催場所】 佐賀市エコプラザ 2階大会議室

【委員】 (敬称略)

中山政弘（委員長）、田中和生（副委員長）、芦原哲幸、城添正弘、高橋朋子、中村佳代、中村美枝子、西村洋子、深川千幹、三浦由美子

【事務局】 宮崎環境部長、梶山環境副部長、福本環境政策課自然環境係長、馬場循環型社会推進課長、王丸循環型社会推進課副課長兼総務係長、羽立循環型社会推進課3R推進係長、柳田主事、久保、加藤

【エコプラザ委託業者：特定非営利活動法人さが環境推進センター】 藤井、荒木

【傍聴者】 2名

午前14時00分 開会

【議事内容】

議題1 佐賀市のごみ処理の状況について（ごみ処理施設の見学）

議題2 令和6年佐賀市エコプラザ事業実績の報告について（事務局から説明後、意見交換及び質疑応答）

【質疑】 音声ガイド機は日本語以外の言語に対応しているのか。

【回答】 日本語版のみ。

【意見】 海外からの視察・見学もあったということで、今後多言語のニーズが増えてくると思った。

【意見】 海外からの視察・見学があることや佐賀市の在住の外国の方も多くいらっしゃるのので、工場のパネルなども多言語対応していくと、いろんな方が交流できると思った。

【回答】 ・佐賀市にも外国の方が多く在住されていて、徐々に外国の方の来館対応も多くなっていくため課題であると思っている。

・準備や翻訳には手間や経費もかかるため、ここも意識しながら実施していきたい。

【質問】 リユース事業の連携であーとECOグループ株式会社と連携し、譲渡できなかったものは連携事業者へ引き渡しているが、店内の新陳代謝についておおよそどのくらいで商品の入れ替えを行っているのか。

【回答】 ・連携の経緯として、1階再生ゾーンでは市民から不要になったものを無料で引き取り、修理し展示・販売している。どうしても保管スペースに限りがあることや、ものが入ってくる量と売れていく量に差があり、売れ残り品が滞留してしまい、市民からの受け取りを断らないといけないという課題があった。

・課題解決に向け、あーとECOグループ株式会社と連携し、陶器類やガラス類、雑貨

類を引き取ってもらい、商品の回転率向上と店内の新陳代謝を促している。

・商品の入れ替え目安は約2、3ヶ月。売れ残りは再度価格を下げ、それでも残ってしまうものは連携事業者へ引き取ってもらっている。

【質問】不要品の家具の持ち込み量は増えているのか。

【回答】・増えてはいない。家具についてはスペースの問題で受け取れないものがある。エコプラザではよくでる日用雑貨を中心に受け取りをしている。

・大型家具については民間リユース業者やネットを活用した民間リユース業者などを使い分けてほしい。

【質問】環境学習出前講座の今年度実施校3校はどのようにして実施につながったのか。

【回答】毎年5月くらいに小学校の環境教育担当の先生方の研修会があり、そこで出前講座の案内を行い、その後申込があった小学校3校で実施した。

【意見】出前講座に幼稚園・保育園の子どもが学べるプログラムがあるといいと思う。

【回答】提供の業者へ相談しながら、検討していきたい。

【質問】フードドライブについて佐賀市とフードドライブに関する団体が連携して実施したのか。

【回答】・1月15日が全国でフードドライブの日と定められていて、佐賀市にはフードバンク佐賀さん、その他に唐津や鳥栖にもフードバンクがあり、NPO団体同士でつながる連絡協議会を設立され、その連携の中で県内一斉フードドライブが企画された。
・4日間で80品集まり、フードバンク佐賀さんに提供し、そこで活用してもらおうという流れ。

議題3 今後の展開（事務局から説明後、意見交換及び質疑応答）

【質問】SDGsに関する教育冊子集の作成に関連して、議題1にあったフードドライブはSDGsのゴール1と2に関するところになる。フードドライブの取り組みなどもSDGsに関連してPRしてみてもどうか。

【回答】エコプラザは幅広く事業展開をしているが、SDGsの何番に貢献しているのか見える化していくことが重量であると思う。例えば紹介したSDGsに関する教育冊子集に掲載予定の出前講座や、エコプラザ館内に展示している環境図書についても何番に貢献しているかSDGsに関する見える化を意識していきたい。

【意見】佐賀市全体でもSDGsに関して取り組み・広報してほしい。例えば、学校版環境ISOに関して、SDGsに取り組んでいると分かるようなマークをつけるのはどうか。

【回答】いろんな部署でSDGsに関して取り組んでいるところだが、その見える化がまだまだ足りないと感じている。ゴールはいくつかのゴールに関連していて、何らかの方法でマークをつけるなど、できるところから工夫していきたい。

【質問】PTAさんの活動で、何をするか企画内容に困ることがあり、そこに出前講座について話をもちかけてみることや、リユースと災害を組み合わせる公民館のものを使って災害時に役立つものを自分たちで作ってみるなど、地域の方に身近なことから届ける

ことができたらいいと思う。

【回答】 防災と環境は親和性があり、エコプラザでも意識して今年度も消防局に出向いて防災イベントをしたり、今後リユース品を使った防災グッズの作成講座を実施したり、いろいろ工夫して実施していきたい。

【質問】 外国人の従業員がいて、ごみの出し方を教えている。改めてなぜごみを分別するのか目的を伝えていくことが重量だと思った。今後外国人の対応も検討してほしい。

【回答】 外国人のためのごみ出しガイドやごみ分別についての出前講座も実施しているため、ぜひご活用ください。